

施設関係者評価 結果公表シート

社会福祉法人サン・アス会

サン子ども園 福泉園 分園鳳東乳児園

1 教育目標

評価	A	目標を掲げ、掲示やしおり、ホームページで公表し、目標に向けた具体的な実践が進められている。職員会議で審議確認合っている。ご指導の先生方からも評価されている。
----	---	--

2 本年度ご定めた重点的に取り組む目標や計画をもとに設定した評価の具体的な目標や計画

評価	A	具体的な目標が定められ、計画に従って実践されている。
----	---	----------------------------

3 評価項目の達成及び取り組み状況

項目	評価	理由
① 認定こども園の目標の推進 教育・保育	A	こどもの育ちを大切にしたい一人ひとりを大切にしたい教育保育の推進ができた。幼児では、科学遊び・絵本の読み聞かせ・文字と数・音楽・体操や遊び・食育や英語活動等での具体的な活動を推進した。小学校継続の活動を進め、小学校との交流を深めた。1・2・3号すべてを受け入れた。年間計画・月案・週案等を作成し、計画的に推進した。
② 食育	A	バランスのとれた食事の提供をすすめた。食育への興味関心を持たせ、季節や行事に関連した話題を持った食事とした。マナーやスプーン・お箸の持ち方も指導できた。サツマイモ、ジャガイモ、キュウリ、トマトなどを育て収穫していただくことで、興味関心が高まった。献立表の作成、カロリー計算、食育計画等も確実に実施されている。
③ 保健衛生	A	安全な施設で健康な生活ができるように配慮できた。園児・職員の健康診断、薬剤師による検査、安全点検で万全を期した。事故やケガには再発防止に努めた。コロナ対策で専門業者による週1回館内消毒や職員による毎日のドアノブ等の消毒を実施・検温などを職員・園児・保護者に徹底して実施した。嘔吐医による健診(内科年2回、歯科年1回実施)大きな問題はなかった。毎月の身体計測も実施。
④ アレルギー児対応	A	マニュアルに従い徹底して実施した。誤飲誤食の事故は0であった。来年度からの完全除去について全体に案内と該当者に個別面接で徹底を図った。
⑤ 各行事の実施	A	各委員会が担当し、行事をコロナ対策をして実施した。夏祭り・運動会・サンフェスティバルはクラスごと観覧者人数制限で実施。遠足は近隣で見学などは中止した。「PDCAサイクルを重視し、資料や写真の保存も徹底した。
⑥ 保護者対応	A	第三者評価での保護者アンケートの評価、堺市の質調査の結果は高い満足度であった。懇談・行事・試食会で意見聴取した。運動会のご意見は皆様満足されていた。ご意見を公表した。反映できるご意見には改善を加えた。
⑦ 地域活動	A	週1回の地域活動を実施。クリスマス等の園行事への参加もあった。公民館での子育て支援活動はコロナ関係で中止となった。グループホームとの相互訪問は中止で、手紙や作品のやりとりをした。
⑧ 職員の研修	A	外部研修に積極的に参加、ズームでの研修にも多数参加した。全職員複数回出席。招聘講師による内部研修、指導の先生による音楽、陣雪、保育全般、読み聞かせ、硬筆習字等個別指導等を実施した。毎月の職員会議で、園長よりの講話「主体的取り組み」「特徴を伸ばす」「私にはできることがある」「ほめる・のびす」など
⑨ 情報の公表	A	ホームページを活用し、積極的に情報を公表した。しおりや園内掲示板で細目の情報や写真での活動報告を実施した。園だより・クラスだよりで詳しくお知らせした。苦情件数はホームページで毎月更新し公表している。開園以来苦情件数0。個人情報保護の立場から、保護者にSNSなどでの情報流出を禁止。
⑩ 第三者評価	A	28年度受審が29年度7月に終了。全項目A評価。当分再受診の必要なしとのこと。各種取り組みで、目標や取り組みについて確認しながら進めている。当分、受ける必要はないとのこと

4 評価の具体的な目標や計画の総合的評価結果

評価結果	A	全ての面で良好
------	---	---------

保育の質調査の結果		
		令和3年度堺市が堺市内6園の実施した「保育の質調査」の結果が令和4年に発表された。サン子ども園の取り組みは保護者に高いレベルで認知され、すべての取り組みが高いレベルで賛同されており。子どもや保護者に対してほしい事柄に対してもすべての子ども・保護者に実感されており、特に保護者の「基本的生活習慣を身に付けて、安心して預けられる」「バランスよく成長」「就学の希望が分かち合える」の実感度は高い。子どもや保護者の実感に対して、すべての取り組みが影響していると認識されており、「やさしさ、思いやりや約束を守る」「夏祭りなどの行事で楽しい体験を重ねる」は特に影響が強いと考えられる。
		子どもたちは、安全のための必要な約束・きまりを理解して行動に移せる。先生方との信頼関係がある。ほめるなどの肯定的な関わり表出している。
		調査・監修の先生方
		関川 義孝 大阪府大 教授 木曾 陽子 大阪府大准教授 藤原 範子 大阪府大講師 棕田 義之 関西国際大准教授

5 今後取り組みむべき課題

課題	具体的な取組方法
PDCAサイクルの推進	今年度の反省を踏まえ、徹底して継続・実施する。
職員の育成	若手職員の育成のために個別指導、研修の実施、責任範囲の拡大を図る。

施設関係者評価 評価委員（学識経験者5人 地域代表1人）

小田 富也(元大阪女子短大学長) 吉田 武浩(元奈良育英学園理事會監事)
 宇治 丸卓(元大阪教育大学講師) 後藤 明久(元大阪教育大学講師)
 永久 由子(音楽家) 池下 宏(元福泉校区民生委員長 元校事)